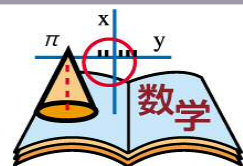


数 学



- 教科書の例題を理解する
基本となる解き方や考え方は、教科書の例題に示されています。授業のあった日は、宿題（課題）とその日の授業の復習を行い、授業のなかった日は、復習と予習を行うとよいでしょう。
- 何回も繰り返す
教科書やノートを見ながら、授業で行った問題をもう一度やってみる。（必ず答え合わせを行い、なぜ間違えたのか考えることが大切です。）
- 予習の方法
教科書を読み、大まかでよいので何を学ぶのかつかむことが大切です。難しい用語（方程式、関数、平方根など）がある場合、チェックしてその意味を考える。授業で質問できるように準備する。

理 科



- 教科書、ノートの見直しをする
授業では、黒板に書いてあったことだけでなく、先生が話していたことなどもメモをとりましょう。ノートは大切な参考書になります。授業のあった日に、「教科書とノートの読み返し」＋「要点のまとめ」を行うことで理解が進みます。
- 観察・実験のまとめ方
授業で行った実験について、「何のために（目的）」「どのような道具を使って（実験器具等）」「どのような方法、手順で（方法）」「どのような結果が得られたのか（結果）」「結果から考えられることは何か（考察）」をまとめることが大切です。（観察結果や実験結果と考察を関連付けることが大切です。）

英 語



- 声に出して読む
予習よりも復習に時間をかけることがポイントです。授業の中で、先生の発音にしっかり耳を傾け、正確に発音することを心がけましょう。「習ったその日に音読する」ことが大切です。
- 書いて確かめる
単語、連語をノートに書いて意味を調べる。教科書の例文をノートに書く。ワークなどは、解説部分をよく読んでから行うとよいでしょう。



家庭学習のすすめ

ーワンポイント アドバイスー

青梅市立学校 中学生 資料



どんな小さな力でも根気よく努力すればいつかは成果を得られることのとえ。軒下などから落ちるわずかな雨垂れでも、長時間同じところに落ちていると、いつかは石に穴を空けてしまう意味から。

<似た意味を持つ英語のことわざ>

Constant dripping wears away the stone.
（絶えず垂れ落ちる滴は石にさえ穴を開ける）

青 梅 市 教 育 委 員 会

年 組 番

名前 _____

家庭学習のすすめ4つのポイント!!



家で勉強する時間を決める。



復習は忘れないよう、その日のうちにやる。



予習に挑戦してみる。

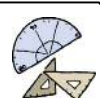


テスト勉強を計画的に行う。



勉強する時間をきめよう

- 毎日、決まった時刻に勉強を始めてみよう！
 - ⇒ 限られた時間の中で、計画的な学習が行えるように、スケジュールを組み立てよう。
 - ⇒ 「テレビをみる」「ゲームをする」等、時間を区切り、けじめをつけよう。
- 計画的に家庭学習をすすめよう！
 - ⇒ 部活動や、習い事などの予定を考慮して、時間を有効に使おう。



復習しよう

- まずは宿題をやろう！
 - ⇒ 宿題を通して、その日の授業の内容を、しっかりと自分のものにすること。
- 復習はその日のうちにやる！
 - ⇒ 忘れないうちに復習を行う。教科書や問題集で、その日に学習したことを振り返る。



予習に挑戦してみよう

- 予習をしよう。すると授業が分かりやすくなる！
 - ⇒ 分からないところ、難しいと感じるところに印を付けるなど、課題をはっきりさせて授業にのぞもう。
 - ⇒ 授業が分かると、勉強が楽しくなる。授業の準備として、教科書を読んだり、分からない言葉や単語を調べたりするだけでも効果があります。



テスト勉強を計画的に行おう

- 定期テストに向けて、集中して勉強に取り組むために！
 - ⇒ 定期テストに向けての計画表をつくってみよう。
 - ⇒ 実現できる計画を立て、できることから始めよう。
 - ⇒ 家庭学習を続けると、集中して学習することができるようになります。
 - ⇒ 毎日学習したことを記録しておこう。自信につながります。

宿題の他にはどんな勉強ができるかな？

国語



- 教科書を「音読」する
学校で学習している文章を、家で毎日声に出して読みましょう。
声に出して読むことで、読めない漢字に気が付きます。毎日読んでいるうちに、内容も頭に浮かぶようになります。
「声に出して読む」ことは、文章を理解するための第一歩です。
- 「漢字」を繰り返し書く
漢字は、練習専用のノートを用意し、毎日、一行書くなど、少しずつでも続けるようにしましょう。へんやつくりを意識して書くと頭に入りやすく、忘れにくくなります。
- 分からない言葉がでてきたらそのままにしない
分からない言葉は辞書で調べる。言葉の意味が分かれば、文章の内容は理解できます。自分の分かる言葉を増やすことは、国語の力を付けるためにも大切なことです。

社会

- 復習の方法
「ポイントをチェックしながら教科書をしっかり読む」
→ 「ノートに補足を記入し、資料や地図を貼る」
→ 「ワークや問題集で、学習内容を確認する」ことが復習の基本パターンです。重要語句や人物は、書いて覚えましょう。
グラフや資料から、その地域の特徴や変化を正確に読み取れるようにする。
- 学習したことを社会の動きと関連させる
社会科は、社会の動きを学習する教科でもあります。進んで新聞を読んだり、テレビのニュースを見たり、旅行先で見聞を広めることも大切な学習の機会といえます。
「授業以外の場も活用する」ことを勧めます。

